

# 中間市第4次総合計画 後期基本計画策定に係る 市民意識調査結果

## 調査期間

平成22年2月1日から  
平成22年3月31日まで

### 1 調査の目的

この調査は、中間市第4次総合計画の後期基本計画を策定するにあたり、市民意識を把握し、市民の意見をより多く計画に反映させるため行いました。

### 2 調査概要

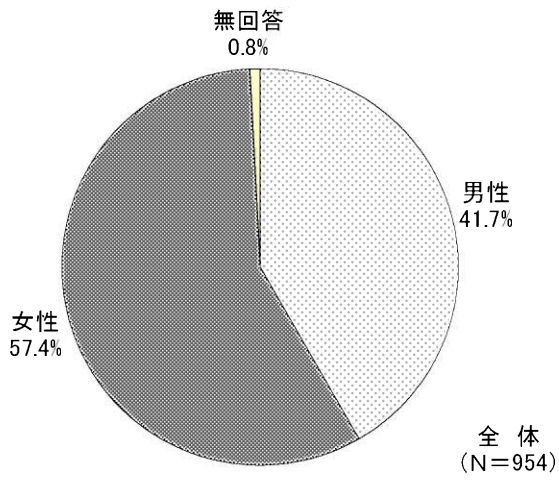
- |           |                            |
|-----------|----------------------------|
| (1) 調査地域  | 中間市全域                      |
| (2) 調査対象者 | 中間市内に居住する満15歳以上の男女         |
|           | 調査対象者数 2,500サンプル           |
|           | 回収数 954サンプル                |
|           | 有効回収数 954サンプル              |
|           | 回収率 38.1%                  |
| (3) 調査方法  | 郵送法                        |
| (4) 調査期間  | 平成22年2月1日（月）～平成22年3月31日（水） |

### 3 調査結果利用上の注意

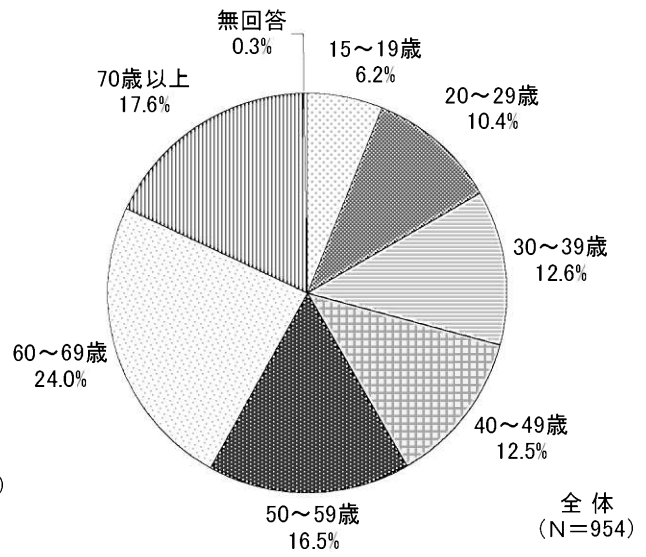
- 数字は、百分比のポイント以下2位を四捨五入しているため、回答比率の合計は、必ずしも100%になるとは限りません。
- 2つ以上の回答を要する（複数回答）質問の場合、その回答比率の合計は、原則として100%を超えます。
- 数表、図表、文中に示すNは、比率算出上の基数（標本数）です。数表で、分析項目によっては対象者が限定されるため、全体の標本数と合わないことがあります。
- 今回の調査において、年齢・性別等の基本属性や、関係があると思われる回答を考慮した分析を行っていますが、数表は省略しました。

①基本事項

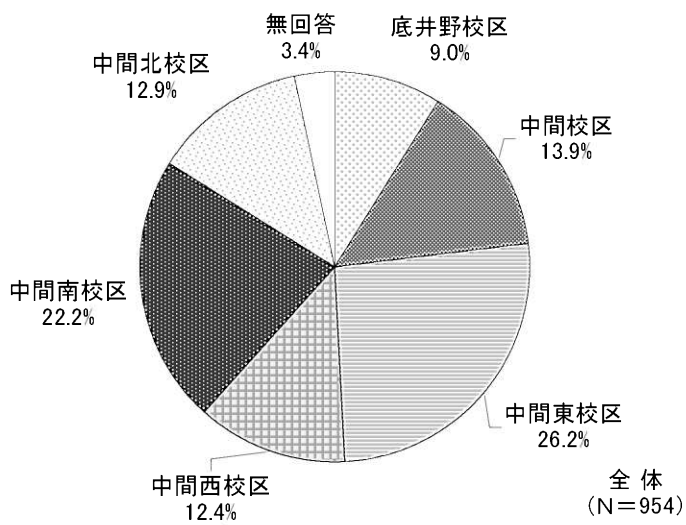
問1 あなたの性別を教えてください。



問2 あなたの年齢を教えてください。

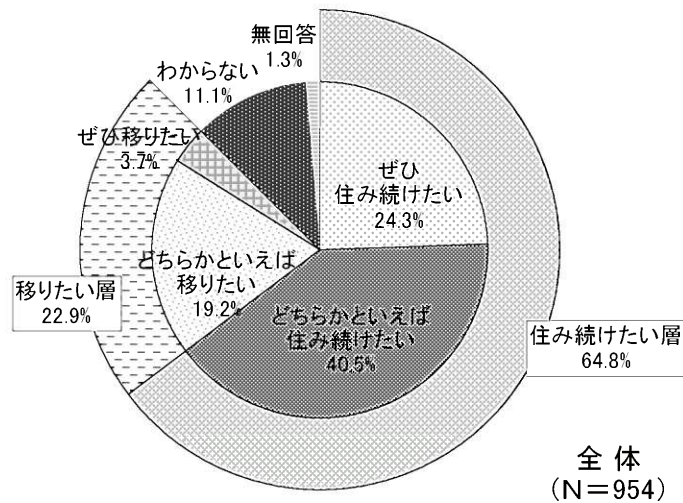


問3 あなたのお住まいは次のどの小学校校区ですか。



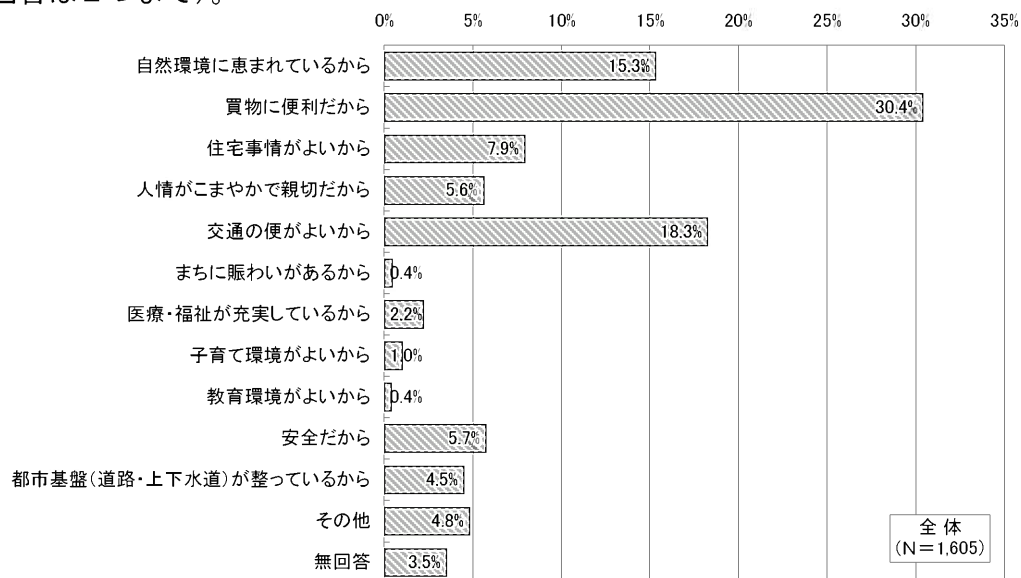
## ②暮らしやすさ

**問4** あなたは、可能ならこれからも中間市に住み続けたいと思いますか。



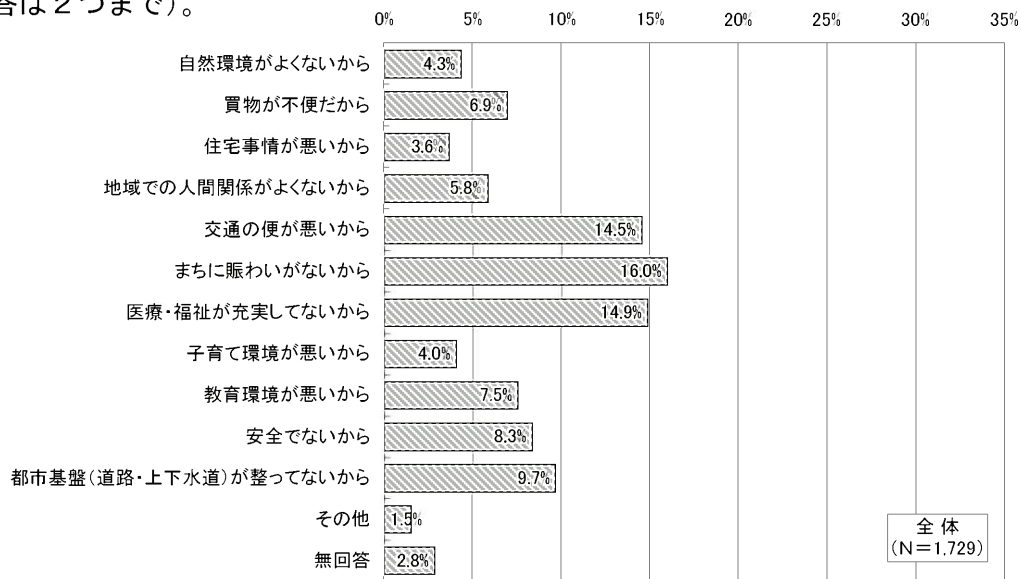
- ◇「住み続けたい」人は64.8%で全体の約3分の2、「移りたい」人は22.9%で全体の約4分の1、「分からない」人は11.1%となっている。
- ◇年齢別では、40歳以上、特に男性は「住み続けたい」人が多く、40歳未満、特に女性は「移りたい」人が多い。
- ◇居住地別では、底井野校区で「住み続けたい」人が多く、中間南校区で「移りたい」人が多い。

**問5** 中間市での暮らしやすさを考えたときに、良いと感じるところはどこですか (回答は2つまで)。



- ◇住みやすいと感じている理由は、「買物に便利」「交通の便がよい」「自然環境に恵まれている」の3つが特に多い。
- ◇居住地別では、底井野校区で「自然環境に恵まれている」「人情がこまやかで親切」が比較的多く、中間東校区で「買物に便利」「交通の便がよい」が多くなっている。

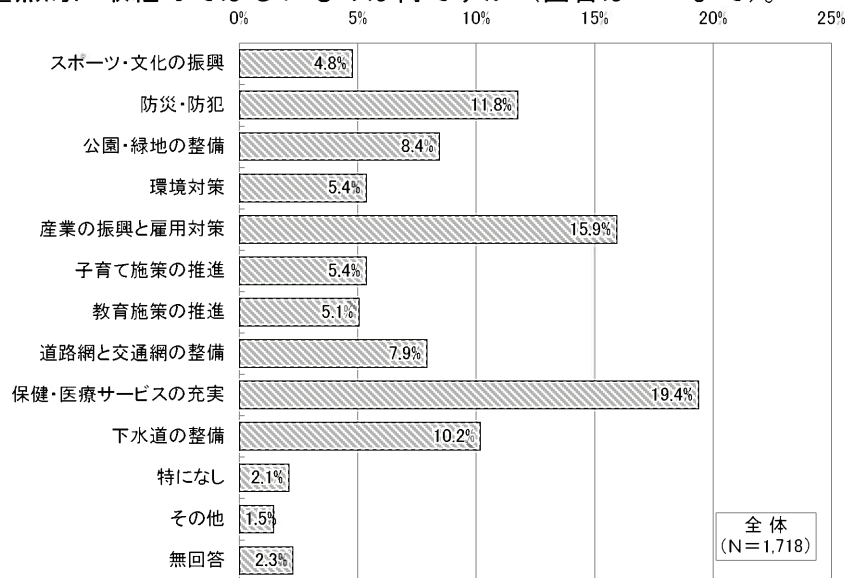
**問6** 中間市での暮らしやすさを考えたときに、悪いと感じるところはどこですか（回答は2つまで）。



- ◇問5の住みやすいと感じている理由と比較すると、中間市が住みにくと感じている理由は、様々な要因に分かれる結果となった。
- ◇50歳未満では「安全でない」「教育環境が悪い」「子育て環境が悪い」との回答が目立つ。
- ◇居住地別では、底井野校区で「交通の便が悪い」「買物が不便」が、中間校区で「まちに賑わいがない」が、中間西校区で「交通の便が悪い」「都市基盤（道路・上下水道）が整ってない」が、中間北校区で「安全でない」「教育環境が悪い」が比較的高い。

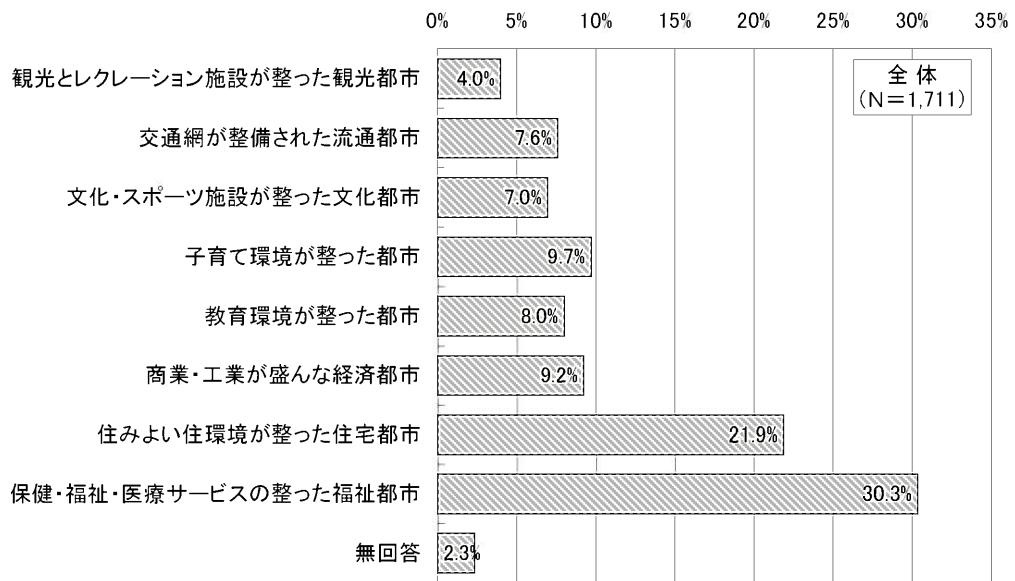
### ③市政

**問7** 中間市に重点的に取組んでほしいものは何ですか（回答は2つまで）。



- ◇市に求める重点施策としては、全体として「保健・医療サービスの充実」「産業の振興と雇用対策」との回答が多く寄せられている。
- ◇年齢別では、10代で「スポーツ・文化の振興」が、20代男性で「産業の振興と雇用対策」が、50歳未満の女性で「防災・防犯」「子育て施策の推進」「教育施策の推進」が、60歳以上の男性で「公園・緑地」「下水道」などの都市基盤に関する回答が比較的多く回答されているように、各年代ごとの行政ニーズが幅広く分かれていることを表している。
- ◇居住地別では、中間西校区で「下水道の整備」が、中間北校区で「防災・防犯」が特に要望されている。

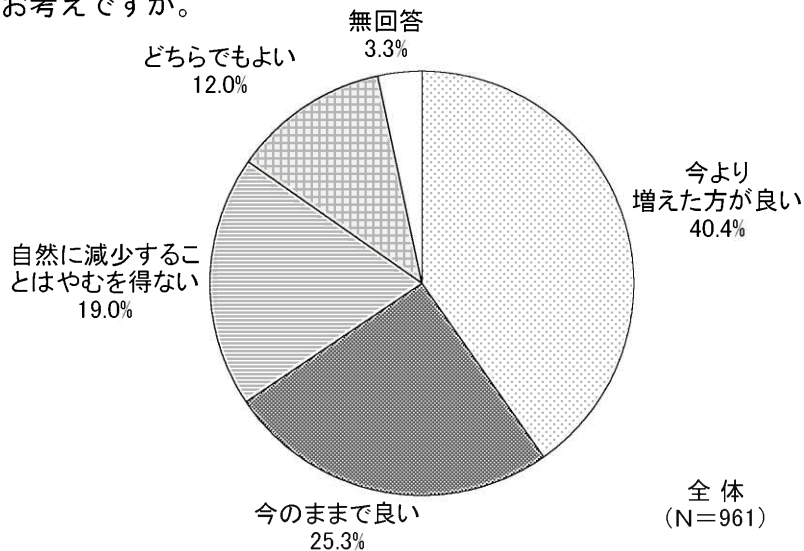
**問8** 中間市は将来どのようなまちになってほしいと思いますか(回答は2つまで)。



- ◇目指すべき中間市の将来像については、「福祉都市」が30.3%で「住宅都市」が21.9%となっている。
- ◇年齢別では、10～20代で「観光都市」「文化都市」が、20～30代女性で「子育て都市」「教育都市」がそれぞれ高くなっている。

**④人口**

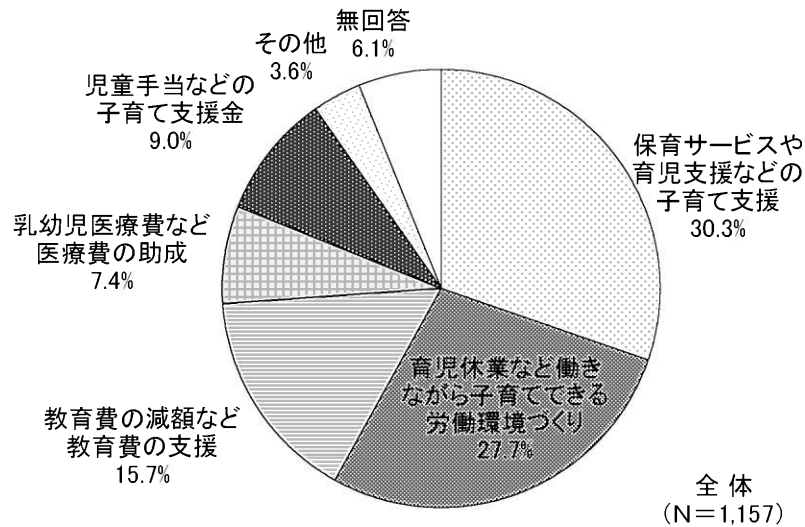
**問9** 中間市の人口は現在約4万6千人ですが、あなたは、中間市の将来の人口についてどうお考えですか。



- ◇将来の人口は、「今のままでよい」と「自然に減少することはやむを得ない」を合わせると「今より増えた方がよい」を上回っており、全国的に人口減少社会にあって市民の意識も変化してきていることが伺える。
- ◇40代以上の男性は「今より増えた方がよい」と考えている人が多く、一方、40歳未満では「今のままでよい」「自然に減少することはやむを得ない」という回答が多い。
- ◇**問8**の将来都市像で「経済都市」を選んだ人は、「今より増えた方がよい」と答えた人が多い。

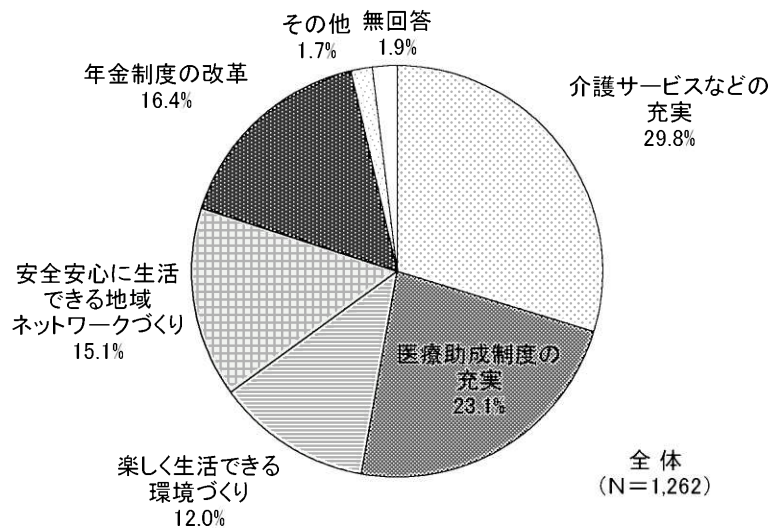


**問10** 「少子化問題」が大きな社会現象となっていますが、どのような施策が最も必要と思いますか。



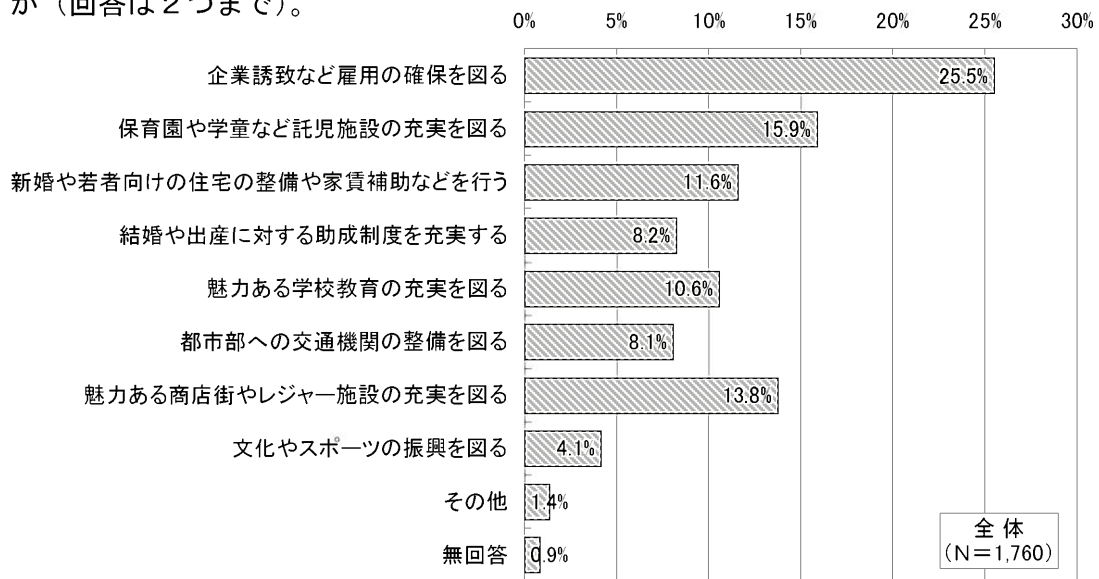
- ◇少子化対策の施策としては、「保育サービスや育児支援などの子育て支援」が30.3%、「育児休業など働きながら子育てできる労働環境づくり」が27.7%となっている。
- ◇50歳未満の男性では「教育費の減額など教育費の支援」を、30歳未満の女性では「児童手当などの子育て支援金」を望む声が多い。

**問11** 中間市も今後高齢者が増加することになりますが、どのような施策が最も必要と思いますか。



- ◇高齢化対策の施策としては、「介護サービスなどの充実」が29.8%で最も多かったが、他の回答に対する要望もそれぞれ高く、意見が分かれる結果となった。

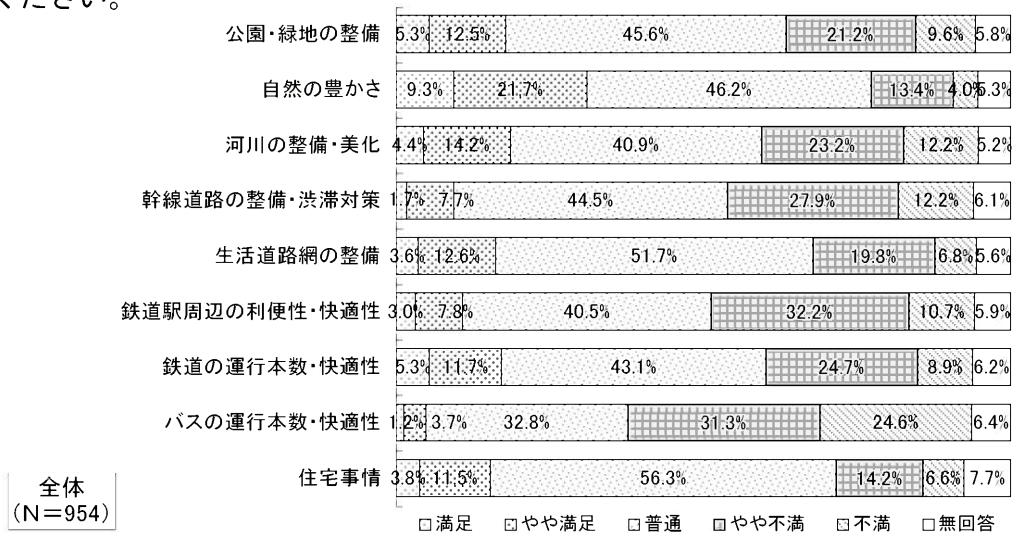
**問12** 中間市に若い人が住みたくするためには、どのような施策が最も必要とされますか（回答は2つまで）。



- ◇若い人が住むために必要な対策は、全体として「企業誘致など雇用の確保を図る」が25.5%と最も高い回答を得ている。
- ◇しかし40歳未満に限定すると「魅力ある商店街やレジャー施設の充実を図る」「新婚や若者向けの住宅の整備や家賃補助などを行う」「魅力ある学校教育の充実を図る」「結婚や出産に対する助成制度を充実する」などの回答が特に多い。

## ⑤都市基盤

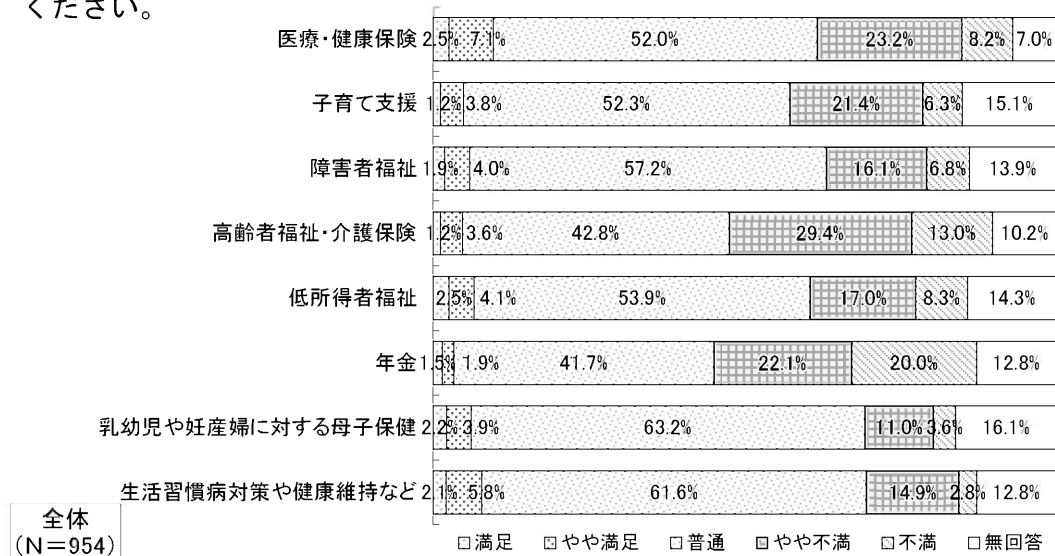
**問13** 中間市の都市基盤の施策について下記の項目ごとに満足度の番号を記入してください。



- ◇中間市の都市基盤に関する各施策の満足度については、「バスの運行本数・快適性」に対する不満が突出して高い。
- ◇年齢別では、公共交通の利用が多くなる女性や高齢者を中心にバスや鉄道に対する不満が高く、10～20代では「公園・緑地の整備」「河川の整備・美化」に対する不満も高い。
- ◇居住地別では、底井野校区・中間西校区で「バスの運行本数・快適性」に対する不満が高いほか、中間校区・中間西校区で「生活道路網の整備」の、中間南校区で「鉄道駅周辺の利便性・快適性」の、中間北校区で「河川の整備・美化」の不満度が高く、各地区の都市基盤に関する行政課題を顕著に示した結果となった。

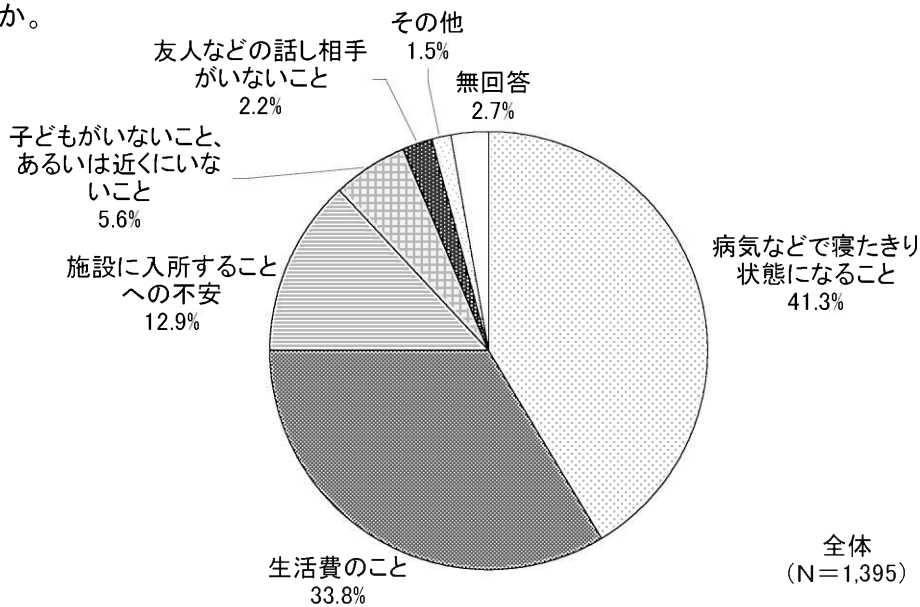
## ⑥保健・医療・福祉

**問14** 中間市の保健・医療・福祉について下記の項目ごとに満足度の番号を記入してください。



- ◇中間市の保健・医療・福祉に関する各施策の満足度については、全体として「高齢者福祉・介護保険」「年金」に対する不満が高い。
- ◇年齢別では、40歳未満で「乳幼児や妊産婦に対する母子保健」「生活習慣病対策や健康維持など」に対する不満が高く、50歳以上で「高齢者福祉・介護保険」「年金」に対する不満が高い。

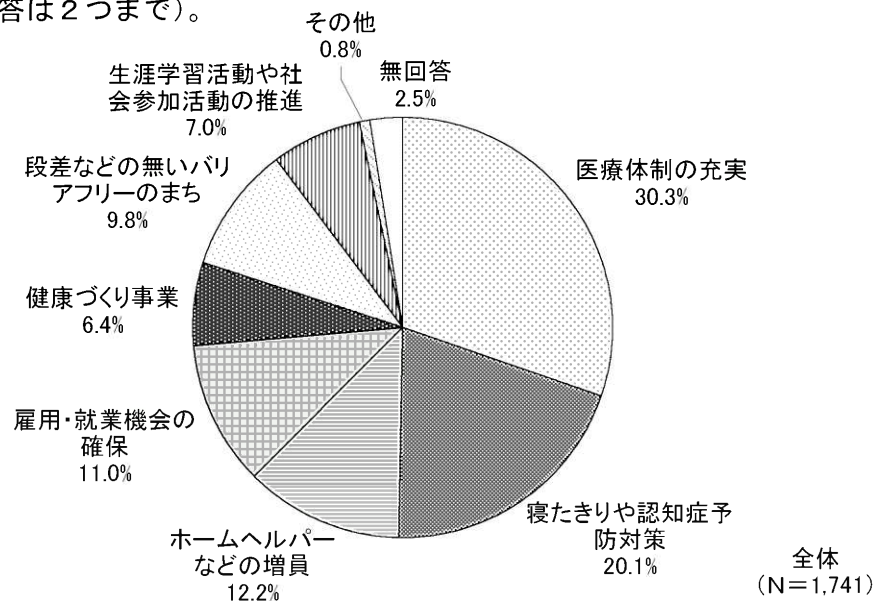
**問15** あなたが、老後を考えるととき（もしくは高齢期にある現在）不安なことは何ですか。



- ◇老後の不安としては、「病气などで寝たきり状態になること」が41.3%、「生活費のこと」が33.8%と特に多く回答されている。
- ◇しかし50歳未満では「生活費のこと」を不安に感じている声が比較的多く、昨今の経済情勢や年金制度への不信感などの影響が現れていると考えられる。

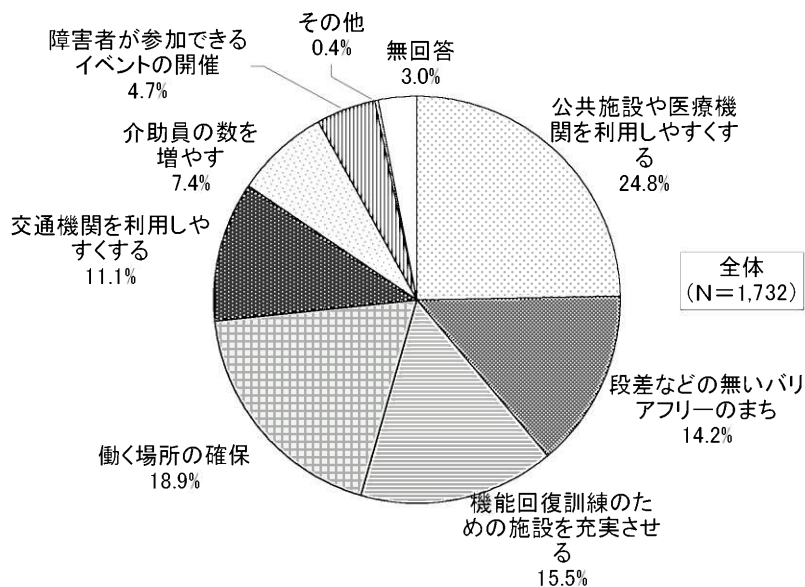


**問16** あなたは、高齢者福祉についてどのようなサービスを充実したらよいと思いますか（回答は2つまで）。



- ◇充実すべき高齢者福祉サービスは、「医療体制の充実」が30.3%、「寝たきりや認知症予防対策」が20.1%と高い割合を示したほか、種々多様な要望が寄せられた。
- ◇60歳未満の男性では「雇用・就業機会の確保」を充実すべきとの回答が比較的多く、定年後も何らかの形で就業したい（せざるを得ない）意向が推察される。
- ◇一方、30歳以上の女性では「ホームヘルパーなどの増員」との回答が多く、家庭で介護にあたる女性への支援を求める声が高いことを伺わせる。

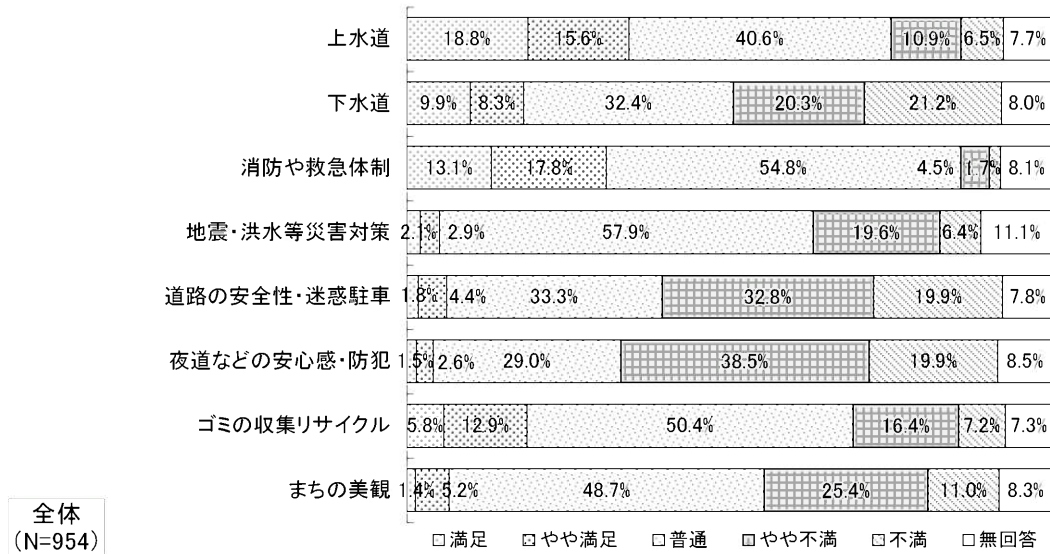
**問17** あなたは、障害者福祉についてどのようなサービスを充実したらよいと思いますか（回答は2つまで）。



- ◇充実すべき障害者福祉サービスは、様々な回答に分かれる結果となった。
- ◇年齢別では、50歳未満で「働く場所の確保」が比較的多い結果となった。

## ⑦生活環境

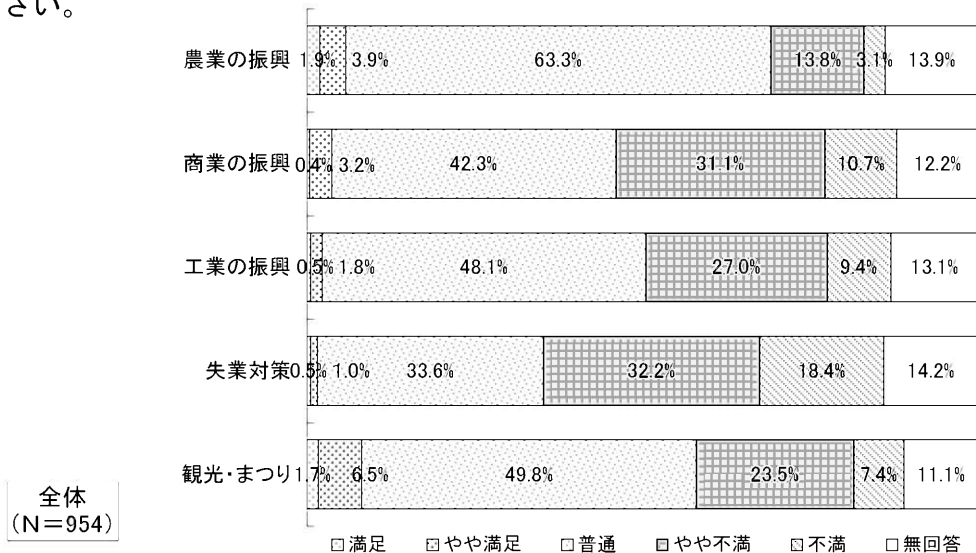
**問18** 中間市の生活環境について、下記項目ごとに満足度の番号を記入してください。



- ◇中間市の生活環境に関する各施策の満足度については、「夜道などの安心感・防犯」「道路の安全性・迷惑駐車」に対する不満が高い一方、「消防や救急体制」に対する満足度は非常に高い。
- ◇「上水道」に対する満足度については、非常に満足している人から強く不満を感じている人まで幅広く分布している。
- ◇年齢別では、50歳未満で「道路の安全性・迷惑駐車」「夜道などの安心感・防犯」に対する不満が非常に高い。
- ◇居住地別では、中間校区・中間西校区で「下水道」の、底井野校区・中間北校区で「地震・洪水等災害対策」の、底井野校区・中間校区で「夜道などの安心感・防犯」の不満度が特に高い。

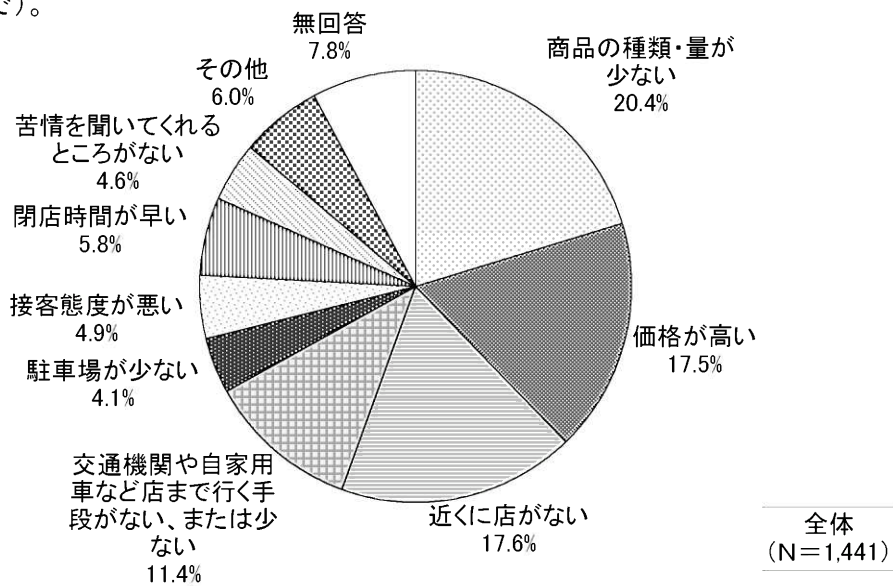
## ⑧産業・雇用・観光

**問19** 中間市の産業・雇用・観光について、下記項目ごとに満足度の番号を記入してください。



- ◇中間市の産業・雇用・観光に関する各施策の満足度については、「失業対策」「商業の振興」に対する不満が高い。

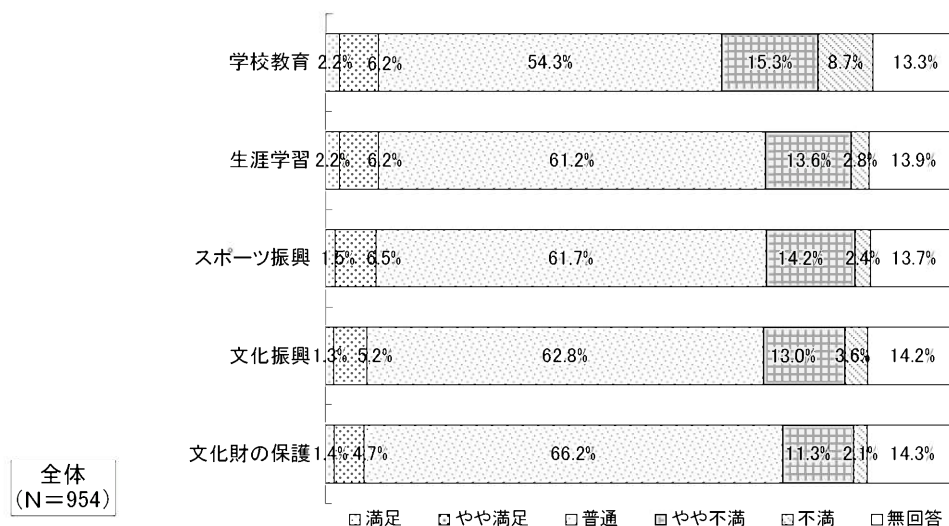
**問20** 中間市内で買物をするとき、不便や不満を感じるのは次のどれですか（回答は2つまで）。



- ◇市内で買物をするときに不便や不満を感じることは、「商品の種類・量が少ない」が20.4%、「価格が高い」が17.5%、「近くに店がない」が17.6%と多くの回答を集めた。
- ◇年齢別では、50歳未満の男性を中心に「商品の種類・量が少ない」が多く、30歳未満で「閉店時間が早い」が多い一方、40歳以上の女性を中心に「価格が高い」「交通機関や自家用車など店まで行く手段がない、または少ない」との回答が多く寄せられた。
- ◇居住地別では、底井野校区で「近くに店がない」が圧倒的に多いほか、中間南校区・中間北校区で「価格が高い」が比較的多くなっている。

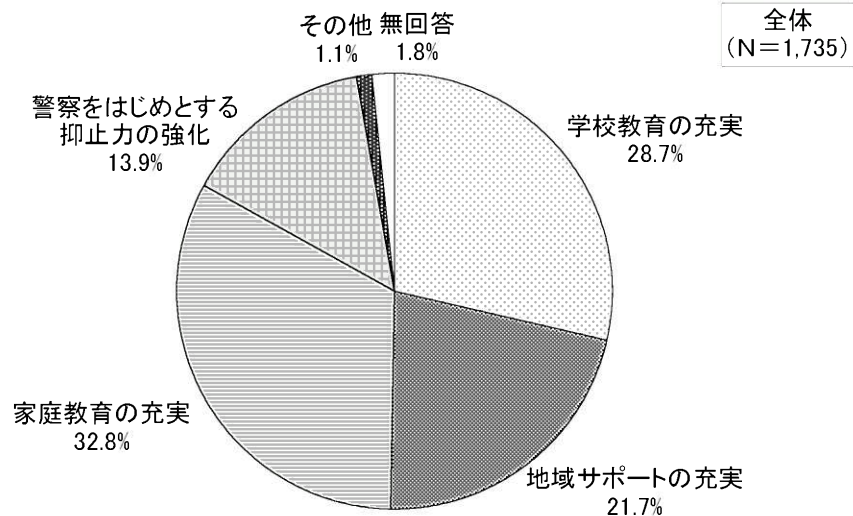
### ⑨教育・生涯学習・文化

**問21** 中間市の教育・生涯学習・文化の施策について、下記項目ごとに満足度の番号を記入してください。



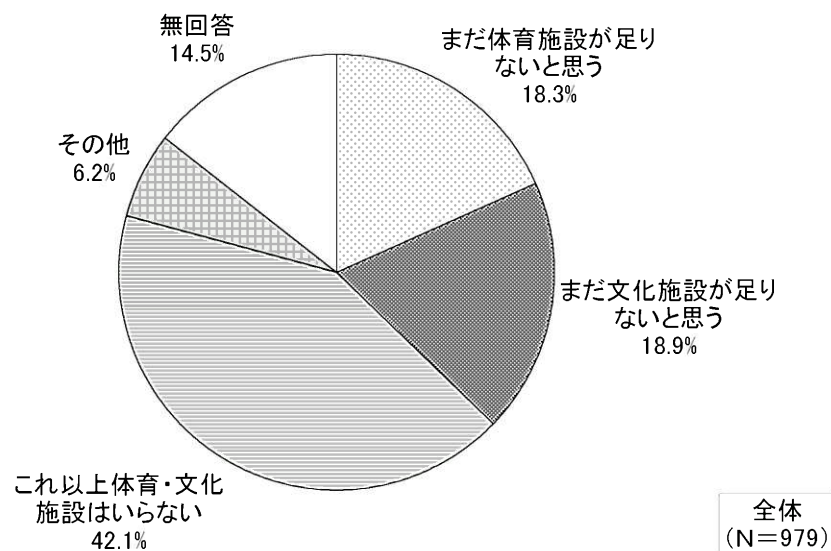
- ◇中間市の教育・生涯学習・文化に関する各施策の満足度については、「学校教育」に対する不満がやや高い結果となった。
- ◇年齢別では、50歳未満で「学校教育」に対する不満が特に高い。
- ◇居住地別では、中間校区・中間東校区・中間北校区で「学校教育」に対する不満が高い。

**問22** 子どもが健全に育つためには、次のどのような施策が必要と思いますか（回答は2つまで）。



- ◇子どもが健全に育つための施策としては、「家庭教育の充実」が32.8%、「学校教育の充実」が28.7%と多くの回答を集めた。
- ◇年齢別では、30歳未満で「学校教育の充実」「警察をはじめとする抑止力の強化」が多い。また、男性は「警察をはじめとする抑止力の強化」が比較的多く、女性は「家庭教育の充実」と答えた人が多い。

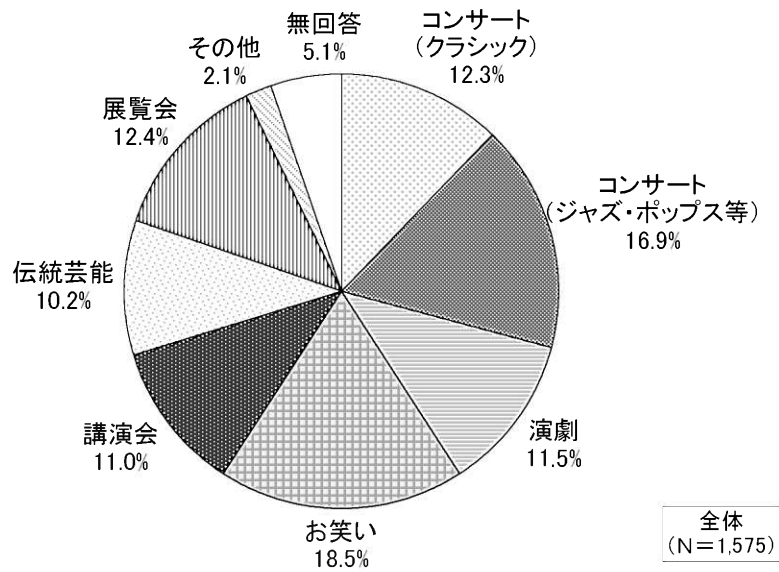
**問23** 中間市の体育・文化施設で現在不足しているものは何ですか。



- ◇体育・文化施設で不足しているものについては、全体として「これ以上体育・文化施設はいらない」という意見が多い。
- ◇年齢別では、30歳未満で「まだ体育施設が足りないと思う」「まだ文化施設が足りないと思う」との回答が、50歳以上で「まだ文化施設が足りないと思う」との回答がやや多い。



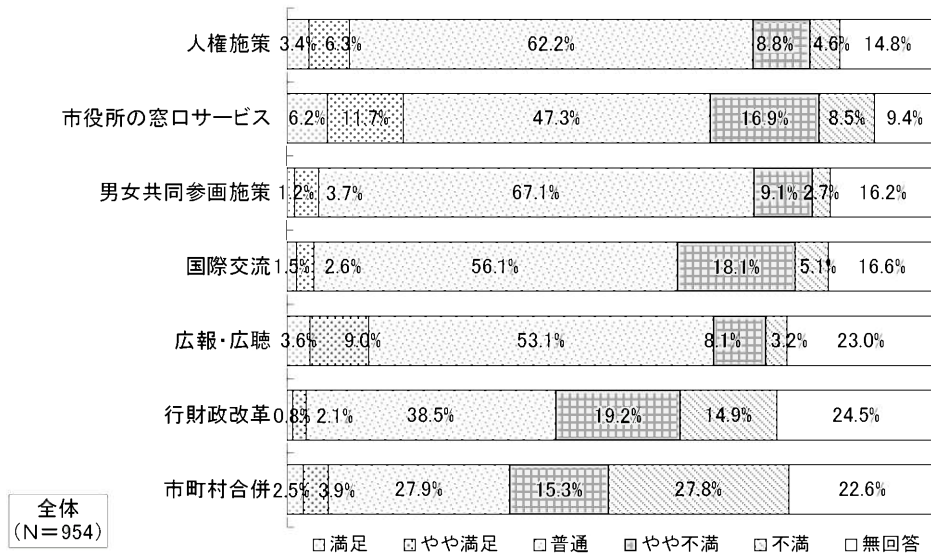
**問24** あなたは、どのような文化イベントに接してみたいですか(回答は2つまで)。



- ◇接してみたい文化イベントとしては各イベントに回答が分かれており、市民のニーズの多様性が改めて浮き彫りになった。
- ◇男女別では、男性で「展覧会」が、女性で「コンサート (クラシック)」「コンサート (ジャズ・ポップス等)」「演劇」との回答が比較的多い。
- ◇年齢別では、60歳未満で「コンサート (ジャズ・ポップス等)」が、30歳未満で「お笑い」が圧倒的に多い。

**⑩その他**

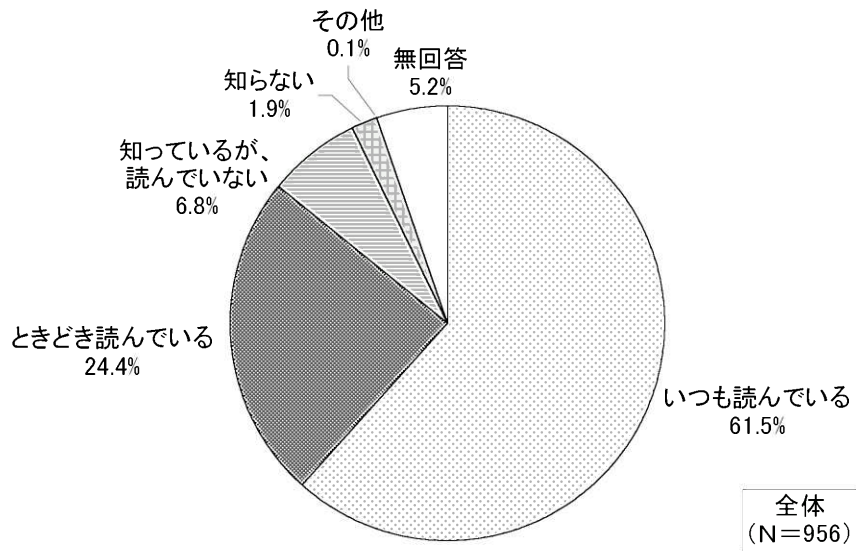
**問25** 中間市のその他の施策について、下記項目ごとに満足度の番号を記入してください。



- ◇中間市のその他の施策に対する満足度については、全体的に「行財政改革」「市町村合併」に対する不満が高くなっている。
- ◇年齢別では、50歳未満で「市役所の窓口サービス」に対する不満が高く、40～50代男性で「行財政改革」「市町村合併」に対する不満が特に高い。

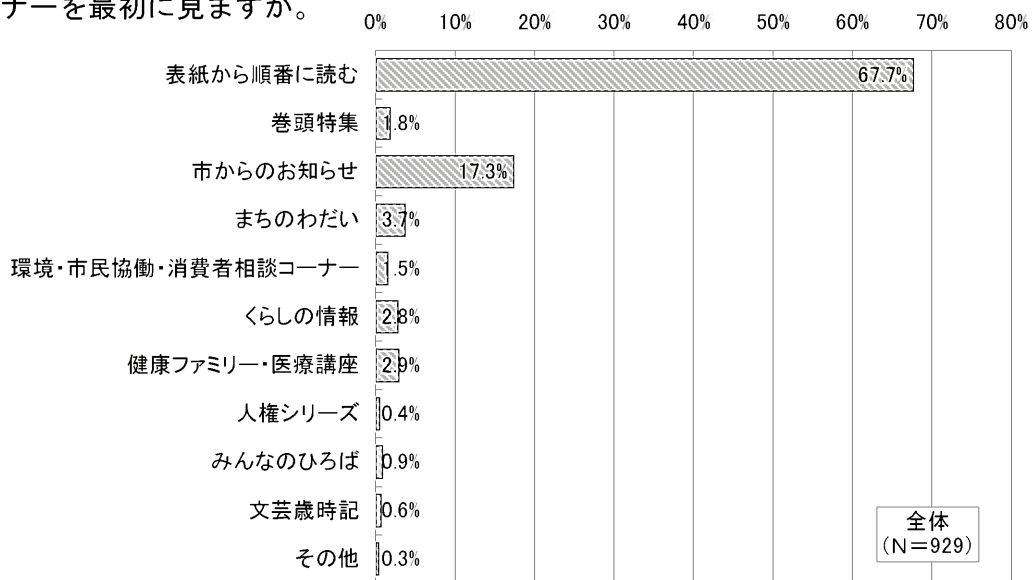


**問26** 「広報なかま」をご存知ですか。



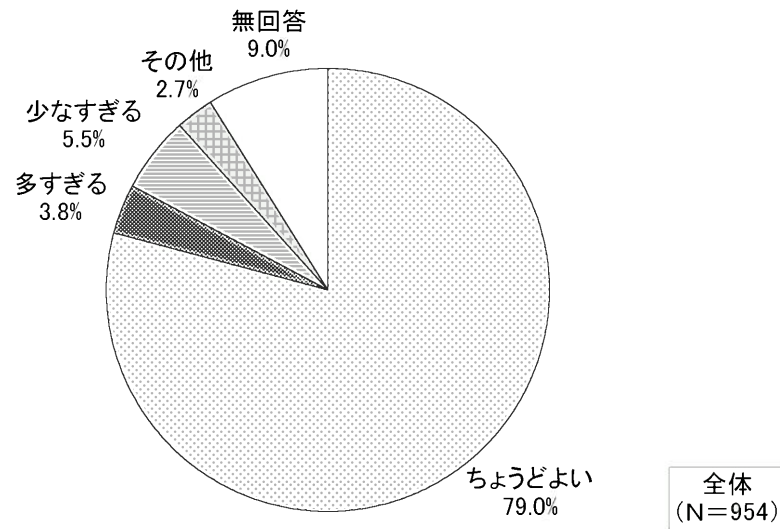
- ◇広報なかまについては、「いつも読んでいる」と「ときどき読んでいる」を合わせると、85%以上の方が読んでいると回答している。
- ◇年齢別では、10～20代では「いつも読んでいる」よりも「ときどき読んでいる」の方が多いが、30～50代では「いつも読んでいる」が約60%で「ときどき読んでいる」が約30%、60～70代では「いつも読んでいる」が約70%で「ときどき読んでいる」が約20%となっている。

**問27** 問26で「1 いつも読んでいる 2 ときどき読んでいる」と答えた方はどのコーナーを最初に見ますか。



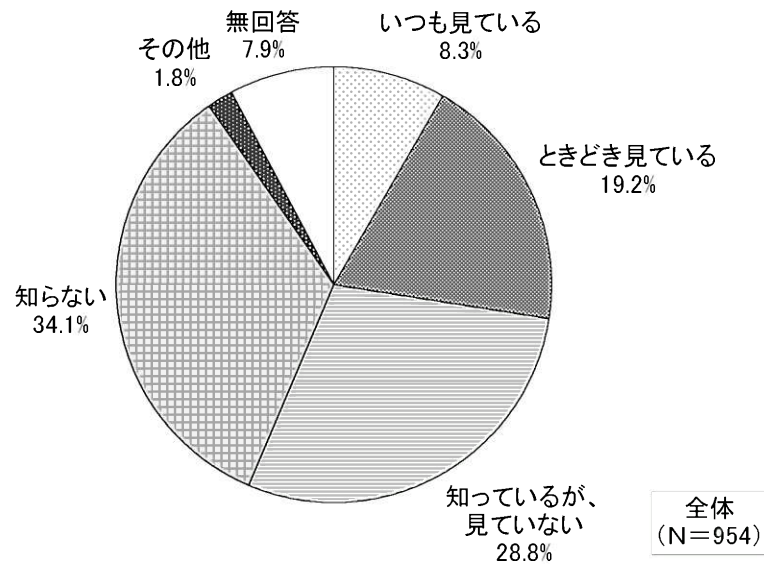
- ◇広報なかまで最初に読むコーナーとしては、「表紙から順番に読む」との回答がほとんどであった。

**問28** 「広報なかま」のページ数についておたずねします。



◇広報なかまのページ数については、「ちょうどよい」との回答がほとんどであった。

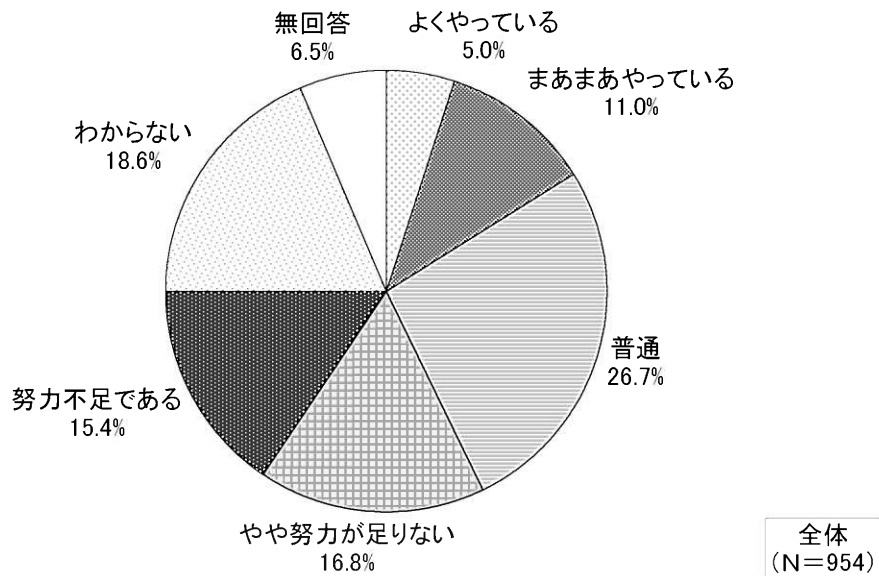
**問29** 中間市ホームページをご存知ですか。



◇中間市ホームページについては、「いつも見ている」と「ときどき見ている」を合わせても、見ていると回答した人の割合は約4分の1にとどまっている。

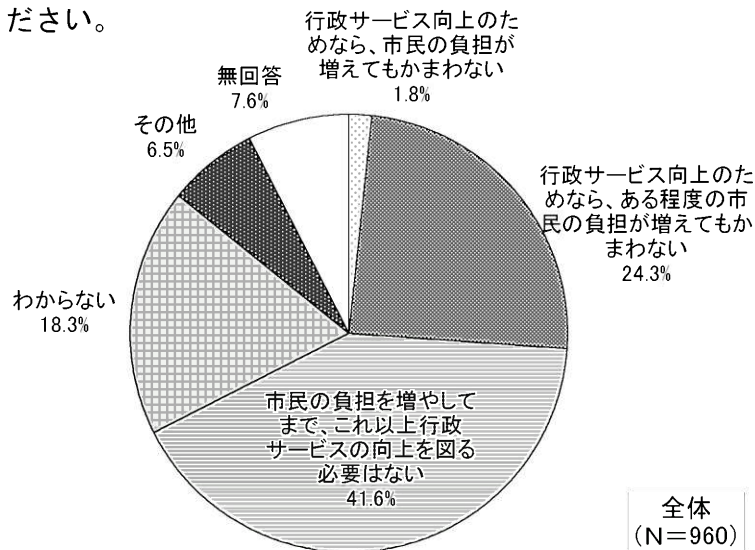
◇年齢別では、10～40代までは「ときどき見ている」が約25%、50代では「いつも見ている」が約5%で「ときどき見ている」が約15%、60代では「いつも見ている」が約15%で「ときどき見ている」が約20%、70代では「いつも見ている」と「ときどき見ている」がそれぞれ約20%となっている。

**問30** あなたは、市の行政改革への取組についてどのような印象をもっていますか。



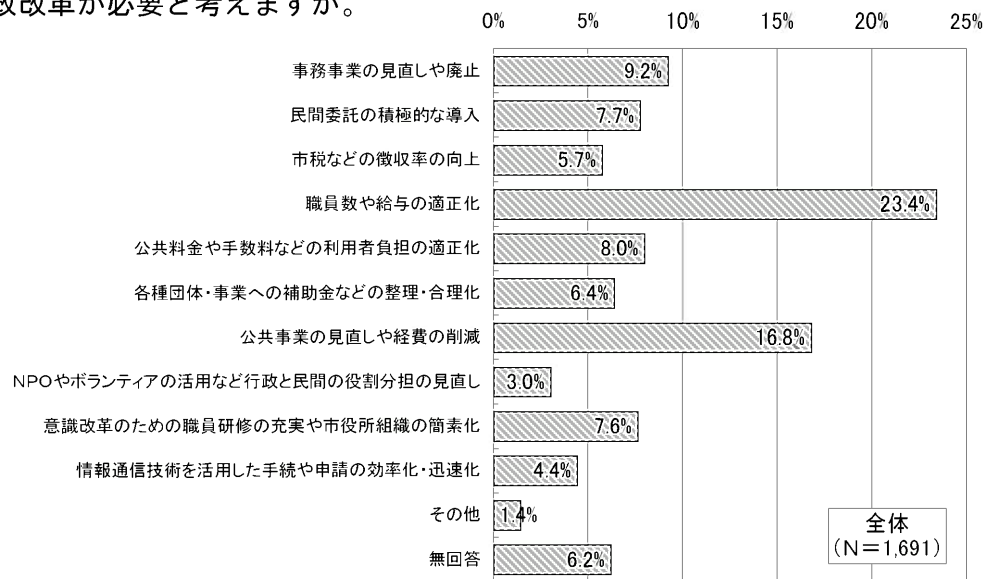
- ◇行政改革への取組については、「よくやっている」「まあまあやっている」が16.0%、「やや努力が足りない」「努力不足である」が32.2%であるが、「わからない」という回答も18.6%とかなり多かった。
- ◇男女別では、男性の方が「やや努力が足りない」「努力不足である」との回答が多く、女性に「わからない」との回答が多い。

**問31** 地方自治体を取り巻く環境が厳しさを増すなか、行財政改革を進めていくうえで行政サービスと市民の負担バランスについてどのようにお考えですか。次のうちから選んでください。



- ◇行政サービスと市民の負担とのバランスについては、「市民の負担を増やしてまで、これ以上行政サービスの向上を図る必要はない」との回答が一番多かったが、「行政サービス向上のためなら、ある程度の市民の負担が増えてもかまわない」との回答も多かった。
- ◇男女別では、男性は「行政サービス向上のためなら、ある程度の市民の負担が増えてもかまわない」との回答が比較的多く、女性は「市民の負担を増やしてまで、これ以上行政サービスの向上を図る必要はない」との回答が特に多い。
- ◇年齢別では、40歳未満で「わからない」との回答が多く、40～60代男性を中心に「行政サービス向上のためなら、ある程度の市民の負担が増えてもかまわない」との回答が比較的多くなっている。

**問32** 今後、さらに効率的・効果的な行政サービスを提供するためには、どのような行財政改革が必要と考えますか。



◇今後一層取り組んでいくべき行財政改革としては、「職員数や給与の適正化」「公共事業の見直しや経費の削減」との回答が突出して多かった。

**自由記入欄** 市政に関するご希望やご意見がありましたら自由に記入してください。

◇自由記述の主な内容とその件数は以下のとおり（延べ件数）。

- ・市町村合併の推進（39件）
- ・市政への期待、感謝（18件）
- ・市議会への意見、議員定数の削減（42件）
- ・市職員削減、給与の適正化（32件）
- ・市職員の接遇、激励（37件）
- ・行財政改革、財源の有効活用（21件）
- ・医療、高齢者福祉、介護保険（20件）
- ・児童福祉、子育て支援（12件）
- ・生活保護に対する不公平感（14件）
- ・環境、河川（21件）
- ・税金、公共料金（14件）
- ・上下水道（15件）
- ・道路（17件）
- ・都市計画、通谷電停付近の改良、公園の改善、バスの本数（32件）
- ・商店街の活性化、産業の振興、地域間格差の是正（18件）
- ・防犯、派出所または警察署の建設、暴力追放（14件）
- ・学校教育、家庭教育、非行防止、市民会館や図書館の改善（24件）
- ・その他（22件）